

HTMLスナップショット 2016



2016-09-03 momdo (Twitter: @momdo_)

自己紹介に代わって翻訳物紹介

HTML

Living Standard — Last Updated 1 September 2016

[Multipage Version](#)
whatwg.org/html

[One-Page Version](#)
html.spec.whatwg.org

[PDF Version](#)
whatwg.org/pdf

[Translations](#)
2 × 日本語

[FAQ](#)
whatwg.org/faq

[Join us on IRC](#)
#whatwg on Freenode

[Contribute on GitHub](#)
whatwg/html repository

[Commits](#)
on GitHub

[Twitter Updates](#)
@htmlstandard

[Legacy Open Bugs](#)
filed in Bugzilla

[Open Issues](#)
filed on GitHub

[Open an Issue](#)
whatwg.org/newbug

Table of contents

1 Introduction

Translations of the HTML Standard

There are currently two known translations of the HTML Standard, both in Japanese.

For more information, see the FAQ entry [what is the process for translating WHATWG standards?](#)

日本語

- By @momdo: <https://momdo.github.io/html/>
- By @triple-underscore: <https://triple-underscore.github.io/index.html#spec-list-html>

▼ Pages 2

[Home](#)

[Translations](#)

Clone this wiki locally

<https://github.com/whatwg/html>

Clone in Desktop

© 2016 GitHub, Inc. [Terms](#) [Privacy](#) [Security](#) [Status](#) [Help](#) [Contact GitHub](#) [API](#) [Training](#) [Shop](#) [Blog](#) [About](#)

自己紹介に代わって翻訳物紹介

momdo.github.io

+

momdo.github.io/html

☆

≡

🔍

🔔

⋮

この文書は「[HTML](#) (WHATWG Living Standard)」の日本語訳です。この翻訳は原文に対して常に時代遅れであり、また常に部分訳です。

この翻訳の二次著作権は[CC0 1.0](#)とします（[謝辞](#)で別に定められているライセンス箇所を除く）。

この翻訳に関するその他注意事項は、[WHATWG HTML日本語訳Wiki](#)を参照ください。

?

HTML

Living Standard — Last Updated 1 September 2016

[Multipage Version](#)
whatwg.org/html

[One-Page Version](#)
html.spec.whatwg.org

[PDF Version](#)
whatwg.org/pdf

[Translations](#)
2 × 日本語

[FAQ](#)
whatwg.org/faq

[Join us on IRC](#)
#whatwg on Freenode

[Contribute on GitHub](#)
whatwg/html repository

[Commits](#)
on GitHub

[Twitter Updates](#)
@htmlstandard

[Legacy Open Bugs](#)
filed in Bugzilla

[Open Issues](#)
filed on GitHub

[Open an Issue](#)
whatwg.org/newbug

目次

を翻訳してます。

3

GitHubに置いてある翻訳物

The screenshot shows a web browser window displaying a GitHub Wiki page. The browser's address bar shows the URL 'github.com/momdo/momdo.github.io/wiki'. The page title is 'W3C仕様日本語訳置き場Wiki'. Below the title, there are tabs for 'license' and 'W3C Document'. The main content area has three sections: 'HTML関連', 'WHATWG HTML', and 'W3C HTML5関連'. Each section contains a link to a specific page. The 'W3C HTML5関連' section includes a list of links with status icons (WD, REC, ED, NOTE). The right sidebar shows a 'Pages' section with links to 'Home', 'html', and 'html5'. Below that, there is a 'Clone this wiki locally' section with a text input field containing the URL 'https://github.com/momdo/mc' and a 'Clone in Desktop' button. The browser's status bar at the bottom shows the page title 'Home - momdo/momdo.gi...' and a zoom level of 100%.

W3C仕様日本語訳置き場Wiki

license W3C Document

W3C仕様の日本語訳置き場。コミットログはリポジトリからどうぞ。血統の森 web実験小屋にも若干のW3C訳があります(が、メンテナンスしていません)。

HTML関連

WHATWG HTML

WHATWG HTMLのページを参照。

W3C HTML5関連

HTML5のページに古い情報があります。

- ARIA in HTML **WD** (HTML 5.1のARIAモジュール仕様)
- W3C HTML 5.0 **REC** (ウェブ制作者向け記述のみの部分訳)
- W3C HTML 5.1 **ED** (時代遅れの翻訳。issue 40 HTML5.1日本語訳が古いも参照)
- HTML5 Differences from HTML4 (HTML4からのHTML5の差分) **NOTE**
- ポリグロット・マークアップ: HTML5語彙の堅牢なプロファイル **NOTE**
- HTML5: 有用な代替テキストを提供するためのテクニック **NOTE** (過去との互換性のためだけに存在。/ issue 41 原仕様がGitHubで更新されているも参照)

ARIA関連

W3C 仕様日本語訳置き場Wiki
<https://github.com/momdo/momdo.github.io/wiki>

こんな活動もやってます

作業部会4 (翻訳) | 組 × +

waic.jp/committee/wg4

Web Accessibility Infrastructure Committee
ウェブアクセシビリティ
基盤委員会

情報通信アクセス協議会 お問い合わせ

ウェブアクセシビリティ基盤委員会 > 組織について > 作業部会4 (翻訳)

作業部会4 (翻訳)

WG4 (翻訳ワーキンググループ) では、JIS X 8341-3の実装に必要な資料として、W3Cの作成するWCAG 2.0関連文書を翻訳・公開します。

主な活動内容

WCAG 2.0関連文書の日本語訳のメンテナンス

- Understanding WCAG 2.0 (WCAG 2.0 解説書)
- Techniques for WCAG 2.0 (WCAG 2.0 実装方法集)

構成員 (順不同・敬称略)

- 主査
太田 良典 ((株)ビジネス・アーキテクツ)
- 副査
今井 大地 ((株)インプットワークス)
- 委員
秋山 豊志 ((株)コンセンサス)

サイト内関連リンク

- 新着情報
- 組織について
 - ▶ 会則
 - ▶ 作業部会1 (理解と普及)
 - ▶ 作業部会2 (実装)
 - ▶ 作業部会3 (試験)
 - ▶ 作業部会4 (翻訳)
- 活動内容
- 公開資料 & リンク集
- コラム

翻訳作業部会のオブザーバーとして活動してます

2つのHTMLに至った簡単な歴史

2016年現在、**HTML5** と **HTML4.01** の2つの仕様が存在する。
ここまでに至る経緯を簡単におさらいする。

- 1997年 **HTML** 仕様勧告。翌年 **HTML2.0** 仕様勧告。ここで **HTML** の進化が一旦止まる。
- 2000年 **HTML** シリーズ仕様勧告（**HTML4.01** 除く）。
- 2003年 **HTML5.0** 仕様勧告。**HTML** の拡張可能性を探る動きが始まる。
- 2004年 **Opera** と **Apple** が **W3C** で **HTML** の開発を再開させるべきという提案をするも、却下される。この後、**Apple**、**Microsoft**、**Opera** の3社で **WebKit** 設立。**WebKit** が現在の **HTML5** の元となる仕様の開発に着手。
- 2006年 **W3C** が **HTML** に興味を示す（**IE** が自身の **Trident** で言及）。
- 2007年 **W3C** と協力体制を取る新たな **W3C** のワーキンググループを設立。
- 2012年 勧告を発行したい **W3C** と開発を継続し続けたい **WebKit** が分裂。
（『運営メモ: **W3C** の **HTML5** と **W3C** の **HTML** 仕様との関係についての最新情報』）
- 2014年 **HTML5** 勧告が発行。

W3C 日本語訳 4.4 歴史 より抜粋・改変
<http://jcdp.w3.org/>

HTML5仕様以降のW3C側の動き

- 旧HTML5の打ち出していた2014 どちらにも勧告こそ発行されたが、このとおりにはHTML5の策定は進まなかった（皮肉なことに、6月時点ではHTML5の勧告は9月に発行予定であって、その意味では当時の計画通りか？）。
- HTML5仕様の勧告の後、エラー タ （正誤表）をHTML5という話もあったがいつの間にか無かったことに。
- HTML5の5 であったHTML5によってHTML5という分割して仕様を策定する案もあったが、彼のHTML5 降板とともにこれも無くなった。
- 2015 の前にHTML5 が立ち上がり、HTML5 はこのW3C が開発を担当することに。
- 2016年1月にHTML5へ"HTML5"というタイトルのHTML5で、HTML5のHTML5 から、HTML5 でHTML5 としての新生HTML5仕様の策定がアナ ウンス がされた。

HTML5の5 であるHTML5 が自身のブログでこのHTML5 に反応した

Anneのエントリー（抜粋訳）

“

もう何回目か忘れたが、~~Wiki~~ からまたフォークがされたみたいだ。いつもの如く、悲惨なものになっている。問題点を挙げてみよう：

- ~~G~~ の履歴を全消去した（訳注：今は~~hiki~~ に一応ログが復活している）
- ~~Wiki~~ を作成する方法を文書にしていない
- ~~Wiki~~ コミュニティーと相談していないし、
- フォーク元とも相談していないし、
- ~~Wiki~~ でも相談していない
- フォーク元の謝辞セクションを消して、
- 著作権とライセンス情報も消してしまったあ~~Wiki~~くはライセンスを付与している（訳注：今は謝辞と著作権表示は復活している）

（中略）

緑のスタイルシートをもつ標準こそが、実装者と開発者によって参照されるべき最新の仕様であり、他の仕様から参照されるべきだと言いたい。

（中略）

欠陥フォークは答えではない。

~~Wiki~~ 21 2016-05

~~hiki~~ 2016/01/11

より、発表者による試訳（抜粋）

その後のWPWGの動き

- 2016年4月8日付けで「**WPWG**」というタイトルで「**WPWG**」に投稿
 - この投稿で「**WPWG**」を2016年9月に勧告にするという「**WPWG**」として
の周知がなされた、と思う
- 同年6月2日付けで「**WPWG**」というタイトルで「**WPWG**」が「**WPWG**」に投稿
 - 事実上「**WPWG**」の機能凍結（新しいものをこれ以上追加しないこと）が宣言される
 - 目論見通り、同月21日付けに勧告候補になった
- 4月に発表されたスケジュールから逆算する月には「**WPWG**」は勧告案になってなければならないはずだが、未だ勧告案は発行されていない。
 - 昨日（！）ようやく「**WPWG**」が出され、月内に勧告案か。
 - 2016（今年は9月19日～23日の日程で開催）より前に「**WPWG**」が勧告となる可能性は皆無である。
- なお、「**WPWG**」の最初の公開草案は8月18日付けで発行された

WPWGの予定

新憲章（憲章）案（10月1日から開始予定）に、WPWGのスケジュールが記載されている

“

- WPWG 2017
- WPWG 2017

WPWG 20168
WPWG 20168

WPWG が2016年9月に勧告になる前提で、
1年に一度のペースでWPWGを更新していく体制でいる...らしい。
（概ねWPWGのスケジュールはアテにならないと個人的には考えるが）

余談として、現WPWGにあったWPWGは削除され（勝手に中心人物だと認識していたWPWGも興味を失ったか）、WPWGが加わっている（WPWGのWPWGでやりとりがあった記憶）

HTMLを取り巻くもう一つの動き

ウェブから若干離れるが、**ECMA-262**（電子書籍のフォーマット）**ECMA-262**は、**ECMA-262**が
コア技術として採用されている。**ECMA-262.0** は**ECMA-262.0135** になっている。
ECMA-262.1 ~~で~~ **ECMA-262.1**（技術仕様）ではない**ECMA-262.1**（国際標準）を目指してる。

“

10.2 認められている参照文書

原則として、規定としての参照文書は、**ECMA-262** や**ECMA-262** により公開されている文書
でなければならない。適切な**ECMA-262** や**ECMA-262** 文書がない場合、下記の条件が満たさ
れる限り、他の組織により公開されている文書を参照してもよい。

※ 参照文書は、幅広く受け入れられ、権威のある位置付けであるとして委員
会により認識される。

ECMA-262 専門業務用指針 第2部
ECMA-262 及び**ECMA-262** 文書の構成及び作成に関する原則と規則 第7版
ECMA-262 ~~の~~ **ECMA-262**

ECMA-262 のこの規則により、**ECMA-262** を参照せざるを得ないだろう
(**ECMA-262** は無理そう)

W3CでEPUBを開発する日が来る？

“

W3C (W3C) と EPUB (EPUB) は10日、米国シカゴで開催中の「2016 EPUB 2.0 Conference」で、2017年1月を
目指して両組織を統合する計画を発表した。

W3C、EPUB の開発組織 W3C との統合を検討 - W3C
<http://www.w3.org/2016/05/10/epub20-conference/>

2016年5月のニュースであるが、その後のニュースはよくわからない。
現状 EPUB 3.0 というグループがあるが、合併話が成立すれば新たに W3C が設立
され、より緊密に W3C の各 W3C ・仕様と連携が模索されるかもしれない。

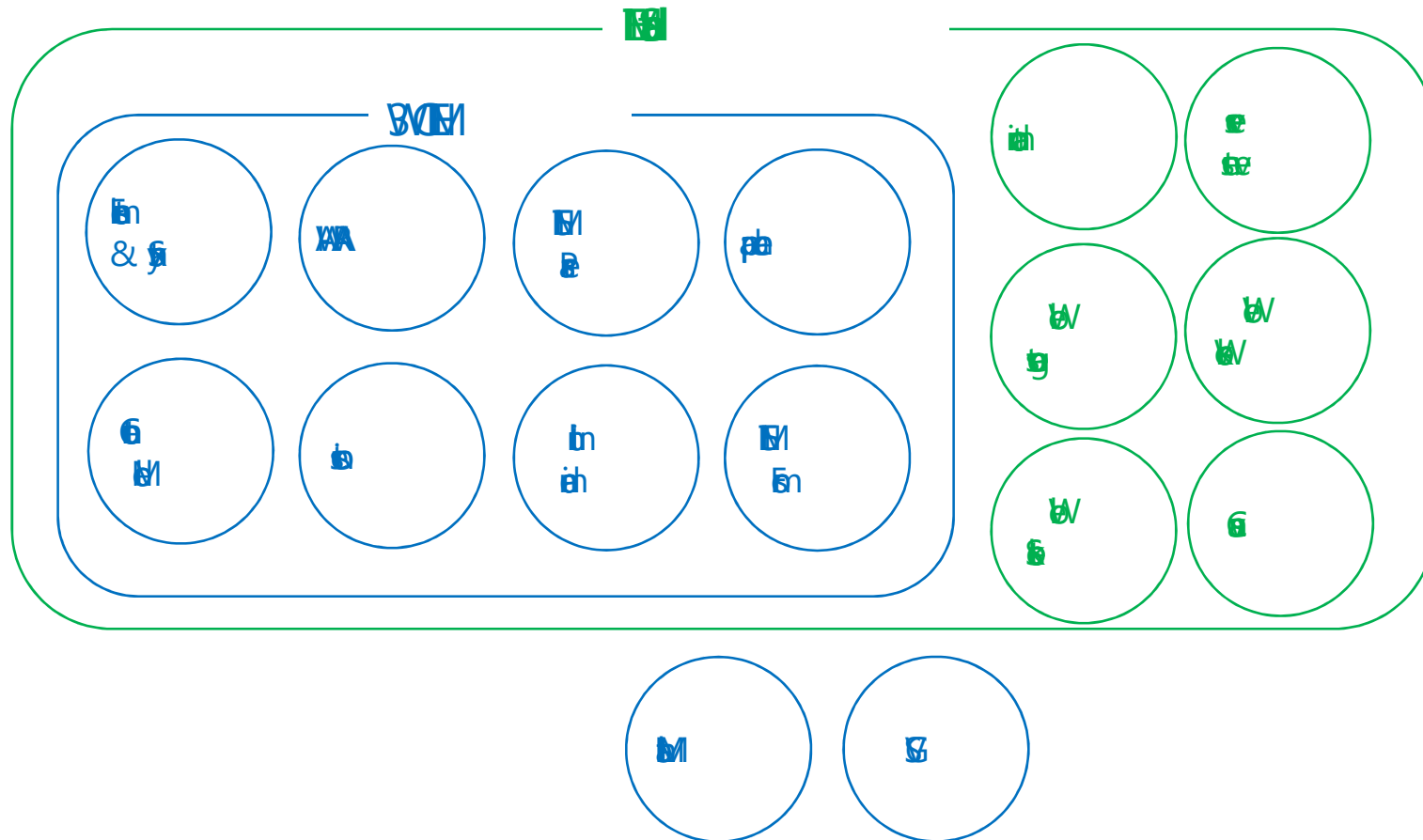
そのときの W3C の立ち位置は...？

2つのHTMLはどう違うのか

よくDOM
あるが...

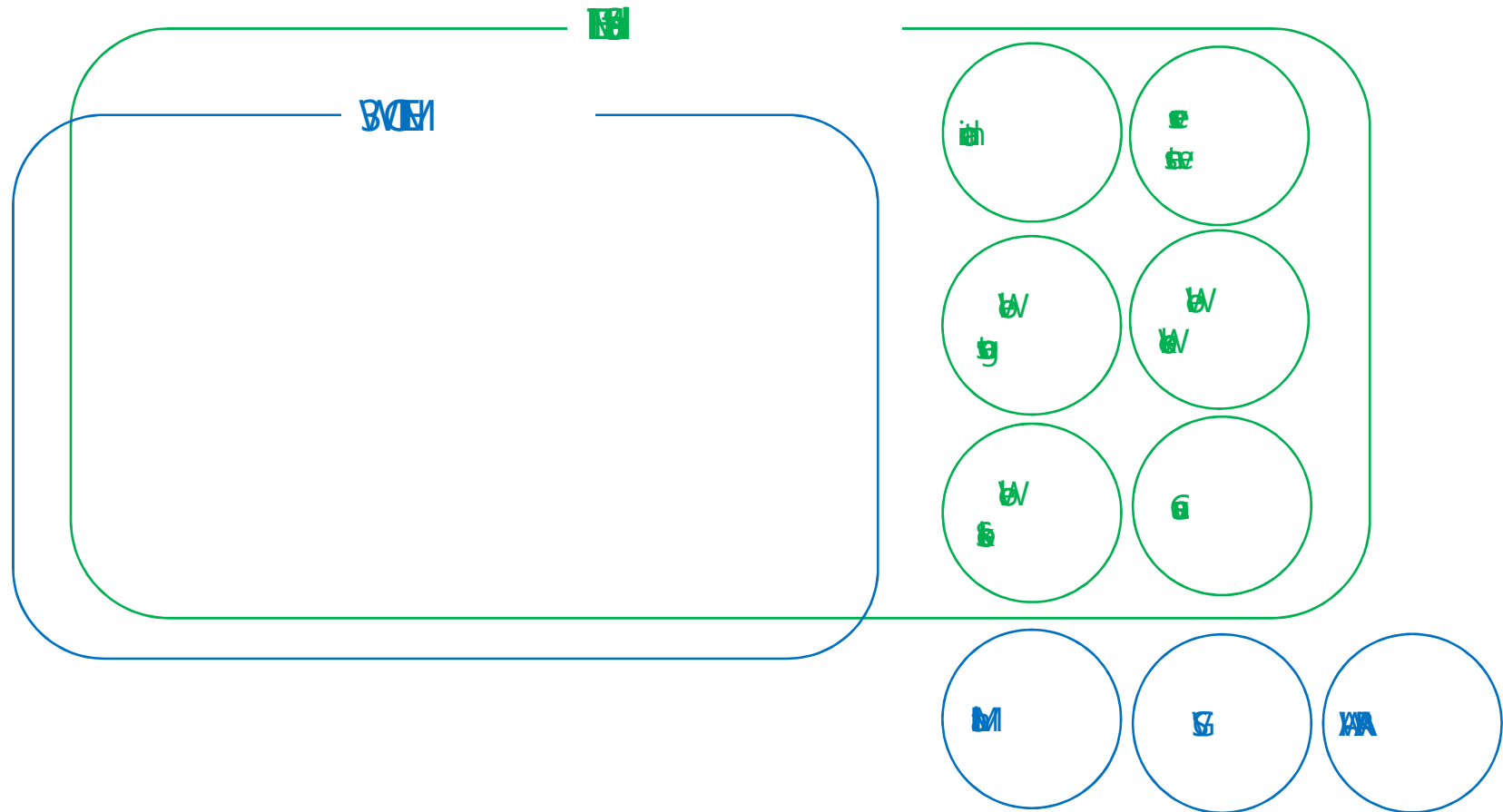
はDOM

の部分集合かのように説明されることが



参考文献より一部改変
<http://www.kyushu-u.ac.jp/~kajiwara/html/>

2つのHTMLはどう違うのか



実際にはこういうイメージ となる。すなわち **DOM** は実態として **DOM** の部分集合 **ではない**。

diffを眺める



には

(変更点) のセクションがある

W3C HTML 5.1: Changes

https://www.w3.org/TR/html51/changes.html#changes

HTML 5.1

W3C Candidate Recommendation, 21 June 2016

← [References](#) — [Table of contents](#) — [Acknowledgements](#) →

Table of Contents

Changes

Changes since the 3 May 2016 Public Working Draft.
Changes since the 12 April 2016 Public Working Draft.
Changes between the 12 April 2016 Public Working Draft and the 10 March 2016 Public Working Draft.
Changes between the 10 March 2016 Public Working Draft and the 10 October 2015 Public Working Draft.
A description of substantial changes between the HTML 5.0 Recommendation of 2014 and the HTML 5.1 draft as it was in August 2015 is available as part of a separate document, that is no longer maintained.

§ Changes

This section summarises substantial *substantive* changes between Public Working Drafts, as a guide for general review.

Full details of all changes since 12 January 2016 are available from the [commit log](#) of the [w3c/html github repository](#), including various editorial and linking fixes.

§ Changes since the 3 May 2016 Public Working Draft.

Changes to match implementation or reflect lack of it

Add [oncopy](#) / [oncut](#) / [onpaste](#) handling

diffを眺める（続き）

W3C Candidate Recommendation

W3 HTML 5.1: Changes

https://www.w3.org/TR/html51/changes.html#changes-20160602

§ Changes since the 3 May 2016 Public Working Draft.

Changes to match implementation or reflect lack of it

- [Add `oncopy` / `oncut` / `onpaste` handling](#)
- [Remove `usemap` attribute on `object`](#)
- [Remove `requestAutoComplete`](#)
- [HTML Fragment serialisation doesn't throw](#)
- [Allow `header` and `footer` elements to be nested if each level is within a sectioning element](#)
- [Make the algorithm for forming a table closer to what implementations do with them](#)
- [Remove `multiple` attribute on `input type="range"`](#)
- [Remove IntersectionObservers](#)
- [Remove `canvasProxy`, `setContext` from `canvas`](#)
- [Make behaviour for fractional step values in `stepUp` and `stepDown` match reality](#)
- [Allow empty `option` elements](#)
- [mousewheel is now wheel](#)
- [Remove `appCache`](#)
- [Remove `MediaController` and `mediagroup` attribute](#)
- [Change `menu/type` attribute token from `popup` to `context`](#)
- [Restore the `rev` attribute, used by RDFa, and e.g. Schema.org](#)
- [Remove the nested `section h1` outline model](#)
- [Removed `style_scoped`](#)

Changes related to other specifications

- [Integrate HTML longdesc](#)
- [Use closed blob from File API](#)

diffを眺める（続き）

“

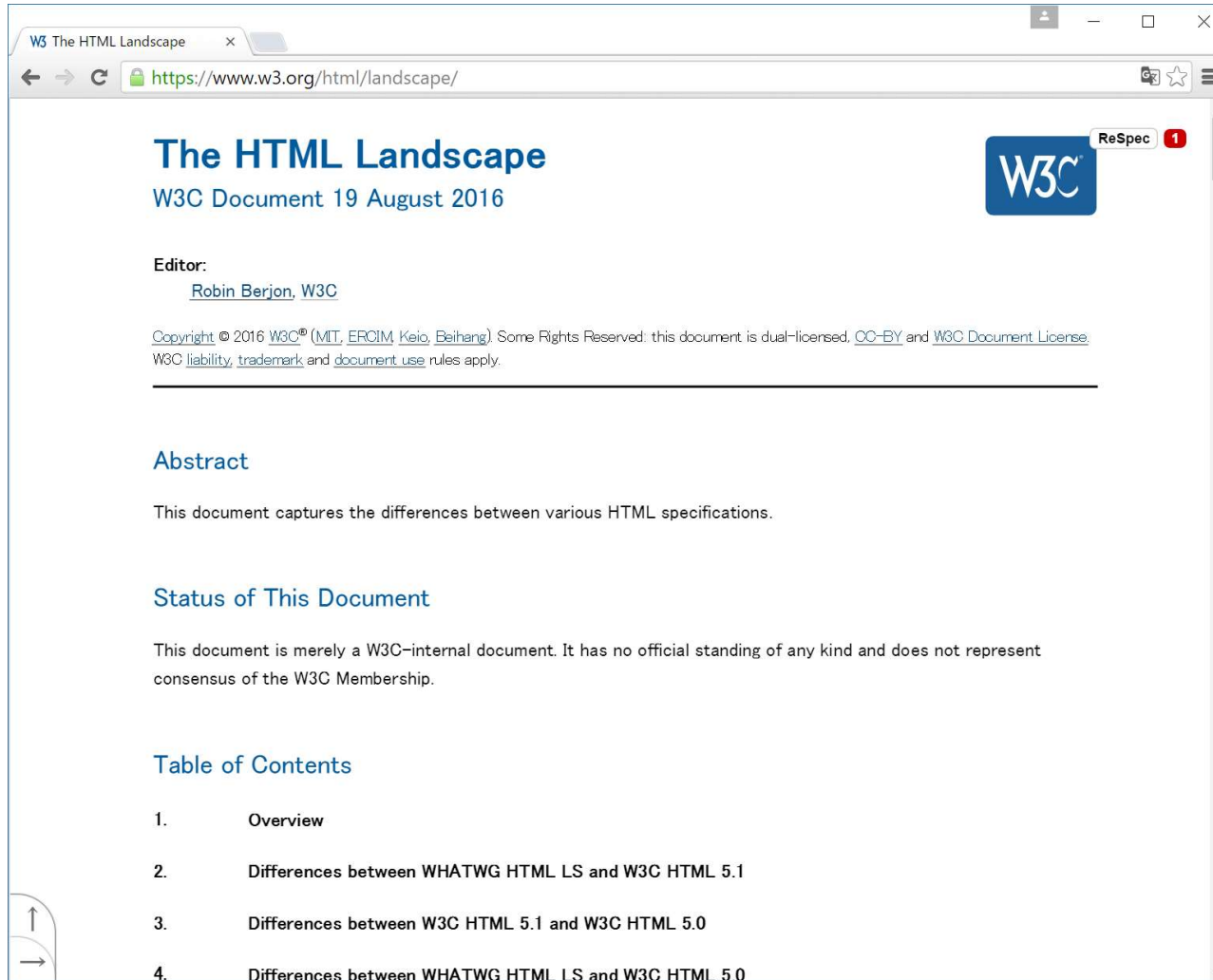
```
diff -u 2014 2015
diff -u 2014 2015
diff -u 2014 2015
```

```
diff -u 2014 2015
diff -u 2014 2015
```

この中で最も古い時期の変更については、別文書（別文書）を参照することになる（ただしメンテナンスされていない）

仕様自身の変更点を説明するのに、なぜか仕様自身で完結しないという。

diffを眺める（続き）



The screenshot shows a web browser window displaying the "The HTML Landscape" document. The browser's address bar shows the URL <https://www.w3.org/html/landscape/>. The page title is "The HTML Landscape" and it is identified as a "W3C Document 19 August 2016". The W3C logo is visible in the top right corner, along with a "ReSpec 1" badge. The editor is listed as "Robin Berjon, W3C". A copyright notice states: "Copyright © 2016 W3C® (MIT, ERCIM, Keio, Beihang). Some Rights Reserved: this document is dual-licensed, CC-BY and W3C Document License. W3C liability, trademark and document use rules apply." The page includes sections for "Abstract", "Status of This Document", and "Table of Contents". The "Table of Contents" lists four items: 1. Overview, 2. Differences between WHATWG HTML LS and W3C HTML 5.1, 3. Differences between W3C HTML 5.1 and W3C HTML 5.0, and 4. Differences between WHATWG HTML LS and W3C HTML 5.0.

The HTML Landscape
W3C Document 19 August 2016

Editor:
[Robin Berjon, W3C](#)

Copyright © 2016 W3C® (MIT, ERCIM, Keio, Beihang). Some Rights Reserved: this document is dual-licensed, CC-BY and W3C Document License. W3C liability, trademark and document use rules apply.

Abstract

This document captures the differences between various HTML specifications.

Status of This Document

This document is merely a W3C-internal document. It has no official standing of any kind and does not represent consensus of the W3C Membership.

Table of Contents

1. Overview
2. Differences between WHATWG HTML LS and W3C HTML 5.1
3. Differences between W3C HTML 5.1 and W3C HTML 5.0
4. Differences between WHATWG HTML LS and W3C HTML 5.0

diffを眺める（続き）

51 と50 の差分を見るのは、3. [Subversion](#) d
"というセクションにある項目を見ていけばよい。

“

2. [Subversion](#)

Sub1.12 [Subversion](#).

[http://www.gnupg.org](#)

しかし、5 と51 の差については、「[http://www.gnupg.org](#) の1.12節を見よ」とあるが、
リンクが [http://www.gnupg.org](#)
と現在の[http://www.gnupg.org](#) にはないものに張られている。

-> [http://www.gnupg.org](#)

[2015008](#)

が本来見に行くべきリソース（事情を知らないと見に行けなみ）。

5.1とLSとの差異（コメント編）

```
<!-- 一般に、HTMLコメント はこのように書きますが>  
<!------->  
<!-- ↑のようなコメント を「誤って」書いたことがあるという人も  
中にはいるのではいるのではないのでしょうか。 -->
```

正確なコメント の書き方は横に置いておいて、コメント は、
<!--で開始して
間に2つ以上の**-**を含まずに
-->で終了する
というのが ~~16~~ の ~~5~~ だったが、

~~16~~ では間のハイフンに関する制約が無くなった
(51 は50 と同じ)

5.1とLSとの差異（要素編）

element	W3C HTML 5.1	HTML LS
<slot>	×	○
<hgroup>	×	○
<rb>	○	×
<rtc>	○	×
<dialog>	○ (bk 扱い／ M には存在)	○
<keygen>	○ (bk 扱い)	○
<menu>	○ (bk 扱い)	○
<menuitem>	○ (bk 扱い)	○

勧告候補段階なので、bk 扱いの実装されていない機能が削除される可能性はある。

また、in の定義や、h の説明にも差異がある
(発表者の記憶によるもので、他にもあるかもしれない)

1. <slot>



HTML のツ イート
github.com/whatwg/html@3c15737

HTML で将来使われるのではないかとと思われる。

2. <hgroup>

2013年4月のVGMの議決によりVGM削除
その代わりに、~~hgroup~~ のセ クシ ョ
ンが存在すると認識 (VGM では4 節) .13.1.

VGM から削除されており、今のところ復活の見込みは一切なし

hgroup の29 にhgroup とhgroup との激しい応酬 (!) の
痕跡があるので、興味のある人は覗いてみるといいかも (?)

“

ス テ ィープ、めちゃめちゃ失礼やな。
ここはVGM ワーキンググループやあらへん。(hgroup)

“

イアン、威張るのやめーや🔥 (hgroup)

29 - hgroup
hgroup29 #33
より抜粋、意識。

と34

3. <rb>/<rtc>

101 でパーサーの議論がされていた
(他にも VC の だったり、 M の だったり、仕様と実装の両面で検討されたと認識。)

仕様としては、もともと が を書いて、これをそのまま 仕様になじ込んだものと理解。

“

書いてみた。
こそ正義。でっかい複雑なものはいらんのです。
12 がベス は黙ってて。

3339 ()
3339 以降
より抜粋、意識。

- の実装は見込めない気がする(?) ので、カギを握っているのは チームか? (個人的な印象)
- 個人的には さえ実現できればそれでいいと思う

4. <main>

“

著者は、文書内に複数のin 要素を含めてはならない

4 要素 - 日本語訳 in
http://www.w3.org

では1つの文書に1回しかin 要素を使用してはいけないという文言があったが、51 にはその文言はない。(5 ではそのような制約は元々ない)
→しかし、51 は依然として1回のみの例示しかない模様



画像出典：
http://www.w3.org/100#138024

4. <main>（続き）

614bba

の比較。上から、50、51。

（この要素を使用できるコンテキスト）

“

```
<main>
```

```
<main>  
<main>
```

```
<main>
```

```
<main>  
<main>  
<main>
```

は50と同じ文言なのが正しい（5と同じだと51の本文と整合がとれない）が、5と同じ文言になってしまっている。（このようなことが至るところで発生していると推測）

この部分の記述は同じだが、本文で51と5とで微妙に異なる。

5. <dl>

“

The default value

0

4 .4 .8
p/v/gR/gu#bbln

“

The default value

is 0.

4 .4 .8
p/v/gR/gu#bbln

❌ ではd要素の説明が変更されている。これは説明がわかりにくいという理由で変更されたが、「0個以上のグループのd」という説明も筋悪に思える。

属性編

attribute	element	W3C HTML 5.1	HTML LS
allowusermedia	iframe	×	
as	link	×	
border	table		×
is	Non	×	
longdesc	img		×
manifest	html	×	
ping	a; area	×	
playsinline	video	×	
referrerpolicy	a; area; iframe; img; link	×	
name	slot	×	
itemid	Non	×	
itemprop	Non	×	
itemref	Non	×	
itemscope	Non	×	
itemtype	Non	×	

※ 扱い: inputmode, contextmenu,
<input type=""> datetime /datetime-local

1. table border

“

属性は、`border` が要素レイアウト 目的で使用されていないことを明示的に示すために`border` 要素で指定されてもよい。指定された場合、属性の値は空文字列または値を"1"のいずれかにしなければならない。属性は、ボーダーがテーブルのセルの周囲に描画されるべきであることを示すものとして、特定のユーザーエージェントによって使用される。

4 要素`table` 日本語訳
`border="1"`

`border="1"` も `border="1"` とほぼ同一の文言。
S では属性そのものが廃止されている。

2. img longdesc

- **W3C** で **W3C** からの要望があったらしい。
(いにしへの **W3C** のログによる)
- 闇に葬り去られたはず...だったが、いつの間にか **W3C** **W3C** の名で **W3C** 勧告として復活（経緯は正確に把握してない）。
- 現在の **W3C** **W3C** では、5月の草案で本体仕様に取り込まれたが、結局切り離される（**W3C** と同じ拡張仕様扱いになる）模様。

参考：**W3C**
<http://www.w3.org/2013/05/01/longdesc/>

3. referrerpolicy

- 文字通り、リファラーを制御する属性。
- `no-referrer` という格好でリファラーを送信しないようにするというのが2009年に `no-referrer` ではじめて実装（`no-referrer` でも規定）。
- その後 `no-referrer-when-downgrade` という書き方が提案。仕様としては当初 `no-referrer-when-downgrade` に登録されるだけであったようだが、`no-referrer-when-downgrade` で `no-referrer-when-downgrade` にて標準化が進行中。ここ数か月で `no-referrer-when-downgrade` に取り込まれている（ので、`no-referrer-when-downgrade` にはない）。

“

新たに `no-referrer` 要素、`no-referrer-when-downgrade` 要素などに `no-referrer-when-downgrade` 属性が追加され、`no-referrer-when-downgrade` と同様の指定がリンクごとに行えるようになります。

`no-referrer-when-downgrade` を制御する

<https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/HTTP/Headers/Referrer-Policy>

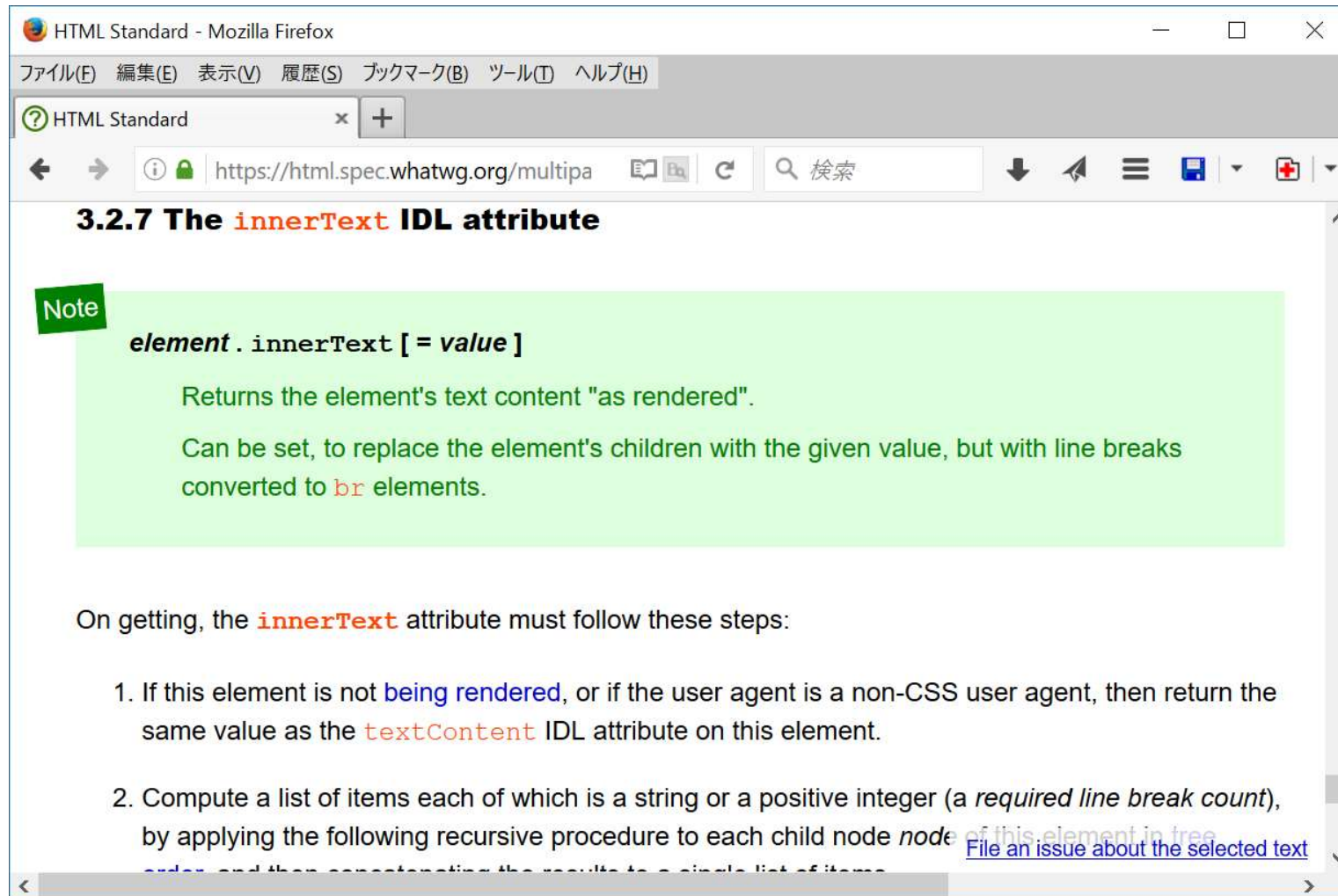
がかなり詳しい。（このスライド もここからまとめさせてもらった）

イベントハンドラー属性編

attribute	element	W3C HTML 5.1	HTML LS
onemptied	h1	×	○
onloadend	h1	×	○
onrejectionhandled	body	×	○
onunhandledrejection	body	×	○

ここではどのようなイベント ハンド ラーかは触れないが、これらも
~~W3C~~ で ~~js~~ されるのではないかと予想。

innerText IDL属性 (!)



The screenshot shows a Mozilla Firefox browser window titled "HTML Standard - Mozilla Firefox". The address bar displays the URL "https://html.spec.whatwg.org/multipa". The page content is titled "3.2.7 The **innerText** IDL attribute". A green "Note" box contains the following information:

Note

`element.innerText [= value]`

Returns the element's text content "as rendered".

Can be set, to replace the element's children with the given value, but with line breaks converted to **br** elements.

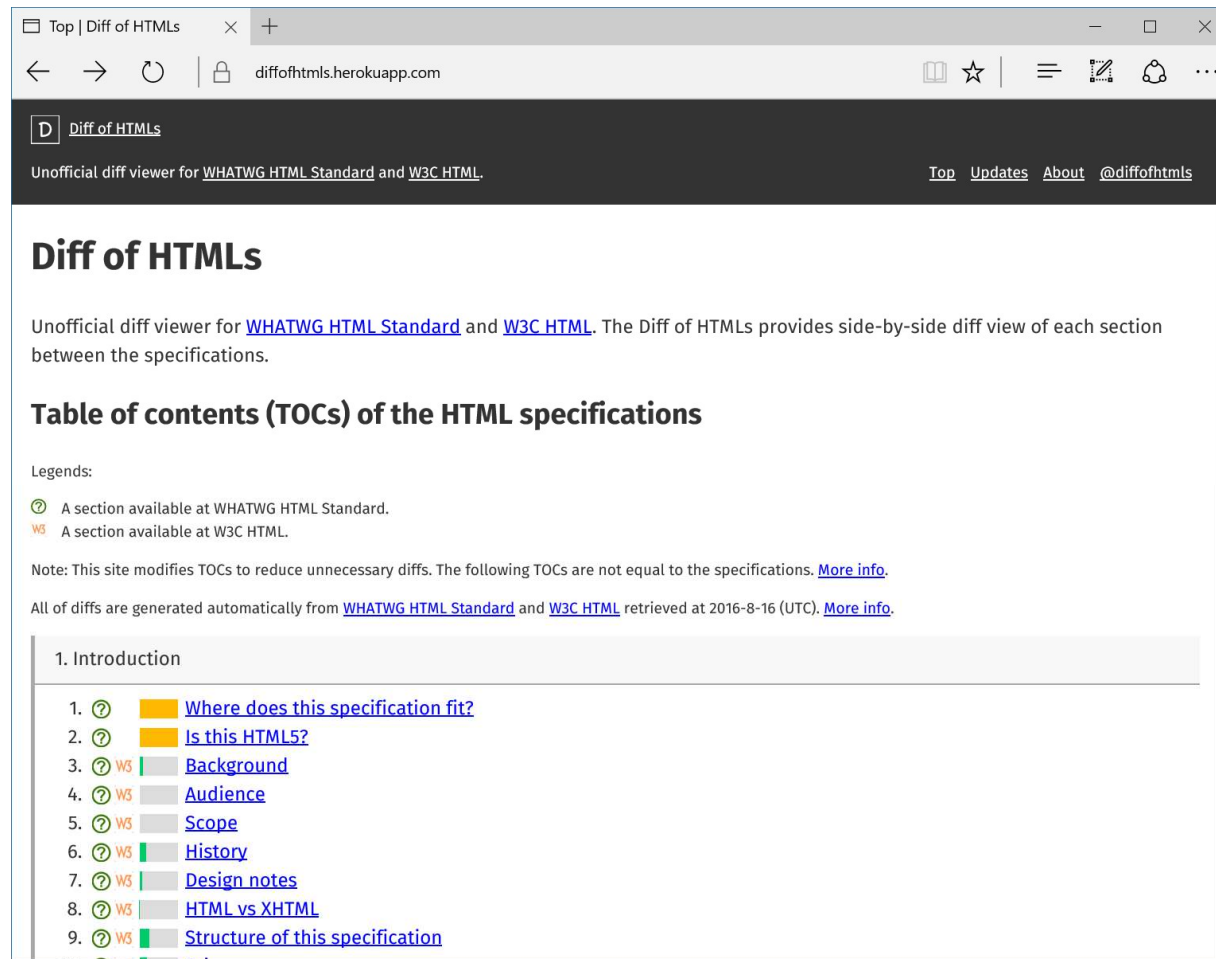
On getting, the **innerText** attribute must follow these steps:

1. If this element is not **being rendered**, or if the user agent is a non-CSS user agent, then return the same value as the **textContent** IDL attribute on this element.
2. Compute a list of items each of which is a string or a positive integer (a *required line break count*), by applying the following recursive procedure to each child node *node* of this element in tree order, and then concatenating the results to a single list of items.

[File an issue about the selected text](#)

Diff of HTMLs

2つのHTMLの各節ごとに差分を見ることができる超絶便利サイト



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying "diffofhtmls.herokuapp.com". The website has a dark header with the title "Diff of HTMLs" and navigation links: "Top", "Updates", "About", and "@diffofhtmls". Below the header, the main content area has the title "Diff of HTMLs" and a description: "Unofficial diff viewer for WHATWG HTML Standard and W3C HTML. The Diff of HTMLs provides side-by-side diff view of each section between the specifications." Below this is a section titled "Table of contents (TOCs) of the HTML specifications". It includes a "Legends" section with two items: a green circle with a question mark for "A section available at WHATWG HTML Standard." and an orange square with "W3" for "A section available at W3C HTML." Below the legends is a note: "Note: This site modifies TOCs to reduce unnecessary diffs. The following TOCs are not equal to the specifications. [More info.](#)" and another note: "All of diffs are generated automatically from [WHATWG HTML Standard](#) and [W3C HTML](#) retrieved at 2016-8-16 (UTC). [More info.](#)" The main content area shows a table of contents for the "1. Introduction" section, listing 9 items with corresponding icons and links:

- 1. ? Where does this specification fit?
- 2. ? Is this HTML5?
- 3. ? W3 Background
- 4. ? W3 Audience
- 5. ? W3 Scope
- 6. ? W3 History
- 7. ? W3 Design notes
- 8. ? W3 HTML vs XHTML
- 9. ? W3 Structure of this specification

実際にDiffを流し見してみた

つらい

- ツールが微妙にうまく取れてないけど、そもそもこのスライドを作るまで最初に比較しようとして（略）

HTML sourceレベルでW3C HTMLが酷い。

- **図** で手直しされてるものが反映されていない

WHATWG HTML Standard The wbr element	W3C HTML 5.1 The wbr element
<div class="example">	<div class="example">
<p>In the following example, someone is quoted as saying something which, for effect, is written as one long word. However, to ensure that the text can be wrapped in a readable fashion, the individual words in the quote are separated using a wbr element.</p>	In the following example, someone is quoted as saying something which, for effect, is written as one long word. However, to ensure that the text can be wrapped in a readable fashion, the individual words in the quote are separated using a wbr element.
<pre>&lt;p>So then she pointed at the tiger and screamed</pre>	<pre>&lt;p>So then he pointed at the tiger and screamed</pre>
<pre>"there&lt;wbr&gt;is&lt;wbr&gt;no&lt;wbr&gt;way&lt;wbr&gt;you&lt;wbr&gt;are&lt;wbr&gt;ever&lt;wbr&gt;going&lt;wbr&gt;to&lt;wbr&gt;catch&lt;wbr&gt;me"!&lt;/p&gt;</pre></pre>	<pre>"there&lt;wbr&gt;is&lt;wbr&gt;no&lt;wbr&gt;way&lt;wbr&gt;you&lt;wbr&gt;are&lt;wbr&gt;ever&lt;wbr&gt;going&lt;wbr&gt;to&lt;wbr&gt;catch&lt;wbr&gt;me"!&lt;/p&gt;</pre></pre>
</div>	</div>

実際にDiffを流し見してみた（続き）

HTML sourceレベルでW3C HTMLが酷い（その2）

- ~~NO~~ にあった~~ぶん~~ が実態にそぐわないので削除する
(~~3/18~~) という話だったはずだけど、未だにクリーンアップできてない。至る所に存在して、ツールで引っかかる始末。
 - ボランティアがすぐに直せる代物だけど、誰も手を出していない時点でお察し。

WHATWG HTML Standard The wbr element	W3C HTML 5.1 The wbr element
	<code></div> <div class="impl"></code>
<p>Any content inside wbr elements must not be considered part of the surrounding text.</p>	<p>Any content inside wbr elements must not be considered part of the surrounding text.</p>
<pre>var wbr = document.createElement("wbr"); wbr.textContent = "This is wrong"; document.body.appendChild(wbr);</pre>	<pre>var wbr = document.createElement("wbr"); wbr.textContent = "This is wrong"; document.body.appendChild(wbr);</pre>
<p>This element has rendering requirements involving the bidirectional algorithm.</p>	<p>This element has rendering requirements involving the bidirectional algorithm.</p>

まとめ

- 主にVC から見たM のこれまでの歩みと、今後のVOM の展望についてまとめた。
 - 個人的見解として、B がVC で開発されるかどうか注目しつつ、これがM に与えるインパクト を注視したい。
- M とVOM の構文・要素・属性・ソース レベルでの比較を行った。
 - 把握しきれないほどの差異があることが示せたと思う。
 - VOM の編集上の拙さの一端を示すことができたと思う。
- M を基本的には参照するようにしましょう。

質問あります？



アンダースコアに注意！
人によってはノイズです。

GitHub



ウェブ仕様翻訳置き場。誤訳指摘歓迎。

Hatena Blog







ウェブ技術関連のみを取り扱います。
月1回の更新を目指しています。

Special Thanks!



お付き合いいただき、ありがとうございました(o・▽・o)

付録（著作権表示）

-  アイコン：  のブランド 資産 <https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/> に基づきアイコンを使用。
-  アイコン：  <https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/> に基づきアイコンを使用。
- はてなブログアイコン：素材集 <https://hateblo.jp/icon/> に基づきアイコンを使用。